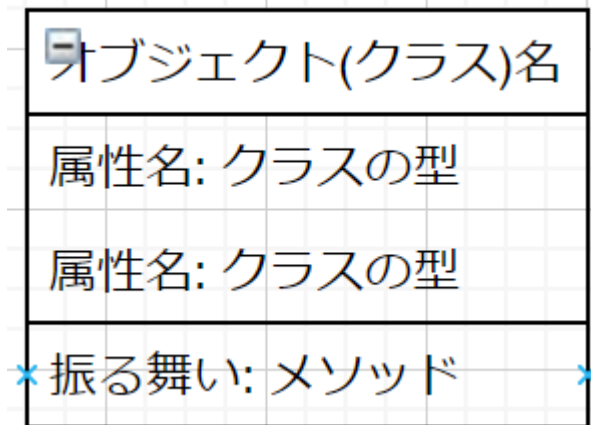
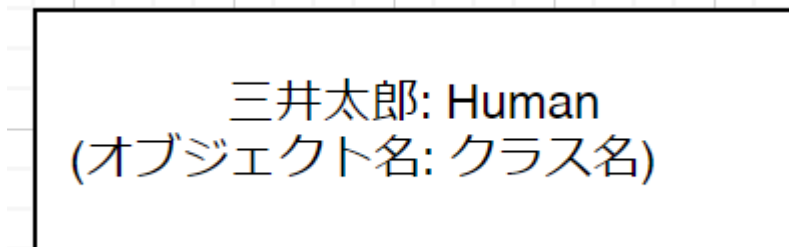


クラス図の書き方

クラス図の基本になるクラスは下のように入ります。

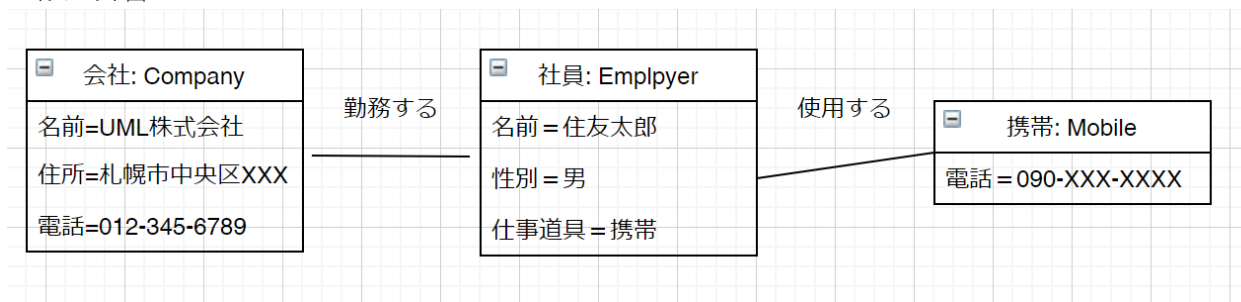


そして、オブジェクト図では属性、操作を表示する必要があるときに書けばよいので下のように入ります。

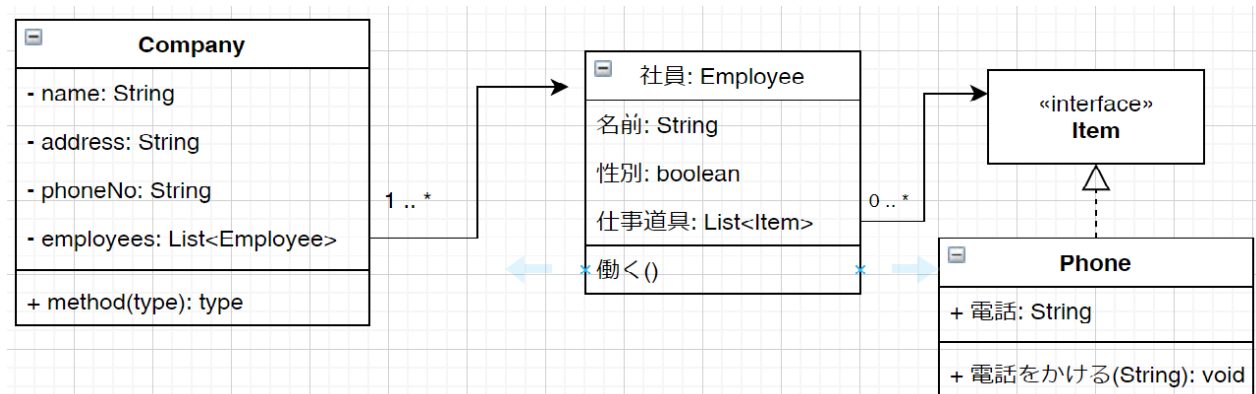


具体的に書くと下のようになります。

<オブジェクト図A>



<クラス図A>



リンクの多重度

オブジェクト図とクラス図の例を見てみるとオブジェクト(クラス)とオブジェクト(クラス)の間に線があります。
これを「リンク」といいます。

しかし、会社をオブジェクト図にすると社員が1000人いるような会社は図に書ききれません。
なので、クラス図で表します、ここで使用しているリンクについている「1 .. *」は**多重度**を表します。

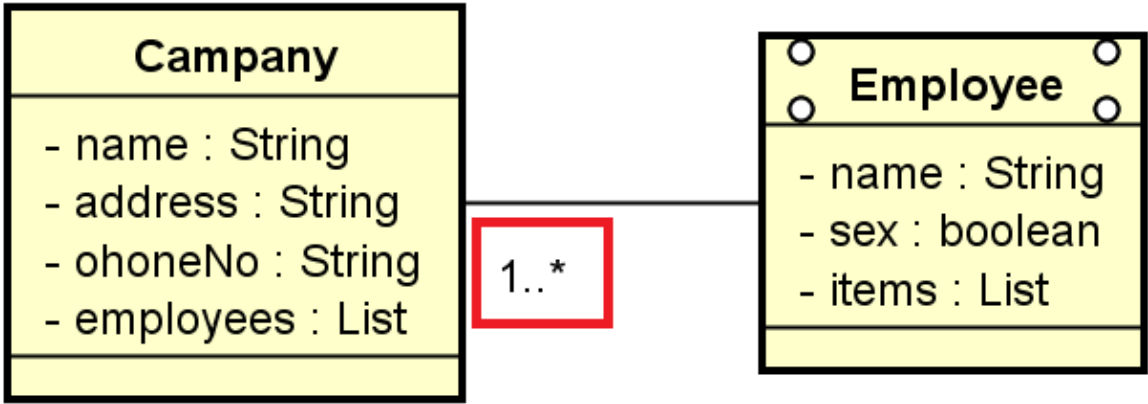
クラス図Aの場合は、会社(Company)が一つに対して、社員が複数となります。このような関係を**one-to-many**といい「1 .. *」と書きます。

同様に、「0 .. *」は**zero-to-many**といいます。

表にすると下のようになります。

表記	意味
1	リンクするオブジェクトが一つ
0 .. 1	リンクするオブジェクトが1つか存在しないか
*	リンクするオブジェクトが複数存在するか存在しない
0 .. *	「*」と同じ
1 .. *	リンクするオブジェクトが必ず1つ以上存在する

< 例 >



クラスの継承とインターフェースの実装

クラスを継承するときの書き方です。

